

様式2

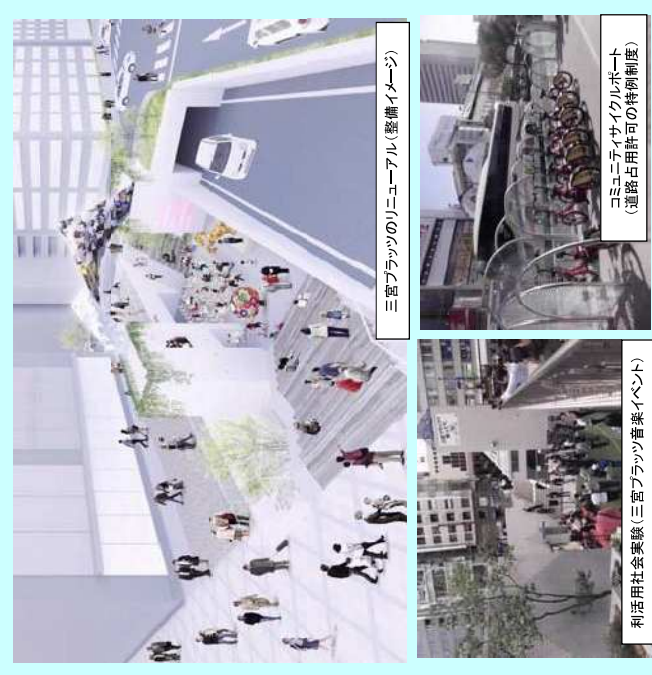
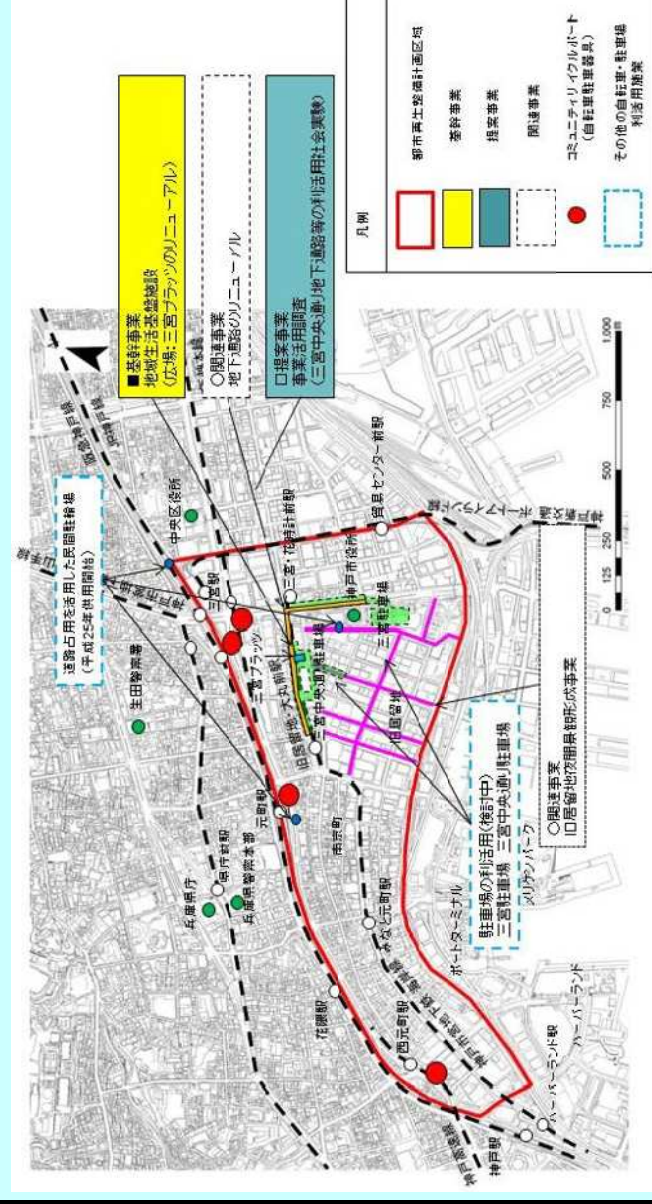
都市再生整備計画 事後評価シート
神戸都心・ウォーターフロント地区（原案）

令和元年7月

兵庫県神戸市

様式2-2 地区の概要

神戸都心・ウォーターフロント地区(兵庫県神戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要		目標を定量化する指標		目標値		評価値	
まちづくりの目標		コミュニティサイクル利用回数(回転率)	単位:回/台・日	0 H25	1 H30	1.7 H30	
大目標「港都 神戸」の創生をめざし、都心・ウォーターフロントの都市機能の形成を図る。 目標1: 快適な自転車の回遊ネットワークの形成 目標2: まちのにぎわいづくり		コミュニティサイクルポート数	単位:箇所	0 H25	15 H30	15 H30	
		三宮プラッツの認知度	単位: %	16 H25	27 H30	25 R1.7	
		三宮中央通りの歩行者通行量	単位:人/12h	14,000 H25	14,500 H30	10,973 R1.7	



施設の整備・イベントの実施等を行ったことにより、都心の新たな魅力創出やにぎわいづくりに寄与するなど、一定の効果は得られた。今後も引き続き整備した施設を適切に維持管理すると共に、次期計画(R1～R5)により、にぎわいの特緑に向けた取り組みを継続し、更に都心三宮再整備をすすめていく必要がある。

神戸都心・ウォーターフロント地区の次期計画(R1～R5)において、更なる都心三宮再整備をすすめるべく、神戸の佇まいとデザインが感じられ、誰もが使いやすい交通手段が整った、歩く人中心のまちの実現に資するまちづくりを進めるとともに、道路占用許可の特例制度を活用した官民連携による持続的なにぎわいの創出を図り、まちの魅力向上に努める。

※:神戸都心・ウォーターフロント地区は、平成26年度に道路占用許可の特例制度の取組のみの計画としてスタートし、平成28年1月の第1回変更で事業を計画に追加して、平成28年度より都市再生整備計画事業を実施した。(計画期間:H26～H30)
 ・本計画の基幹事業である「三宮プラッツのリニューアル」の工事が平成30年度から令和元年度に繰越となったため、各指標の評価値は現時点の計測値とし、工事完了後の令和2年に評価値のフォローアップを行い、確定値を求める。

「神戸都心・ウォーターフロント地区」 都市再生整備計画事業

神戸市建設事業外部評価委員会説明資料

担当：建設局道路部計画課

目次

- 1,都市再生整備計画事業について
- 2,神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容
- 3,事後評価にかかる審議
 - 3-1,数値目標の達成状況
 - 3-2,実施過程の評価
 - 3-3,事後評価原案の公表
 - 3-4,今後の方針

1. 都市再生整備計画事業について

目的

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進



地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図る

2

1. 都市再生整備計画事業について

概要

[1] 都市再生整備計画の作成

市町村は地域の特性を踏まえ、まちづくりの目標と目標を実現するために実施する各種事業等を記載した都市再生整備計画を作成

[2] 交付金の交付

交付金を年度ごとに交付

[3] 事後評価

交付期間終了時、市町村は、目標の達成状況等に関する事後評価を実施し、その結果を公表

(事後評価時期: 交付最終年度又は交付期間の翌年度)

3

1. 都市再生整備計画事業について

交付対象

都市再生整備計画に位置付けられた
まちづくりに必要な幅広い施設等を対象

- ・道路、公園、下水道、河川、多目的広場、修景施設、地域生活基盤施設、土地区画整理事業、市街地再開発事業 等
- ・地域優良賃貸住宅、公営住宅、住宅地区改良事業 等
- ・各種調査や社会実験等のソフト事業

4

1. 都市再生整備計画事業について

交付期間

3～5年

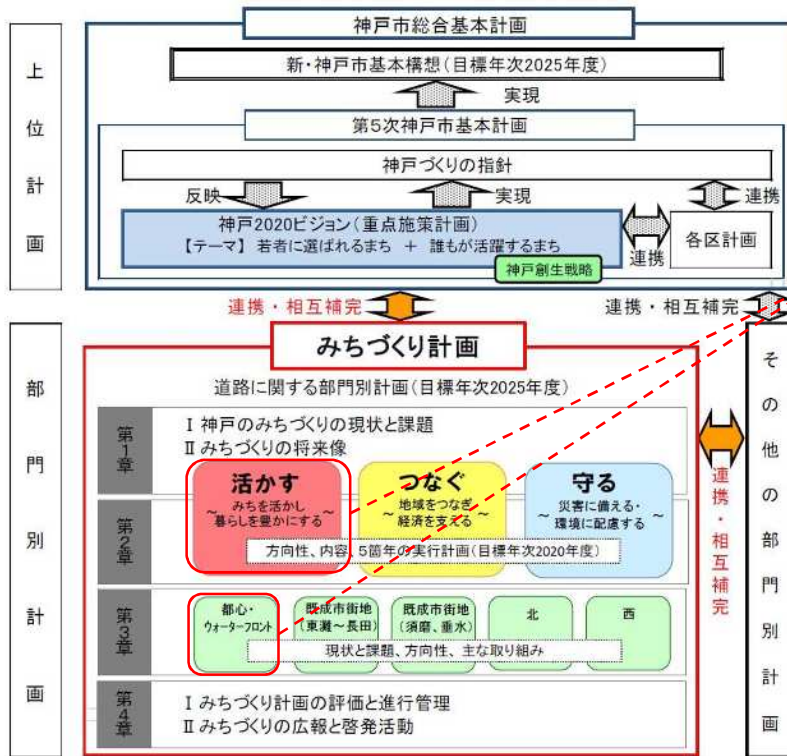
国費率

事業費に対して4割

5

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

上位計画における位置づけ



<みちづくりの指針>

地域特性に応じて、子育て世代をはじめ、あらゆる世代にとって円滑で快適な移動空間の実現と人々が憩いにぎわう魅力的な空間の創出を図り、道路を活かして市民の暮らしを豊かにすることを旨とする。



6

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

計画の名称

神戸都心・ウォーターフロント地区 都市再生整備計画

計画の目標

- 大目標:「港都神戸」の創生をめざし、
都心・ウォーターフロントの都市機能の形成を図る。
- 目標1:快適な自転車の回遊ネットワークの形成
- 目標2:まちなのにぎわいづくり

計画の期間

計画期間:平成26~30年度(5年間)

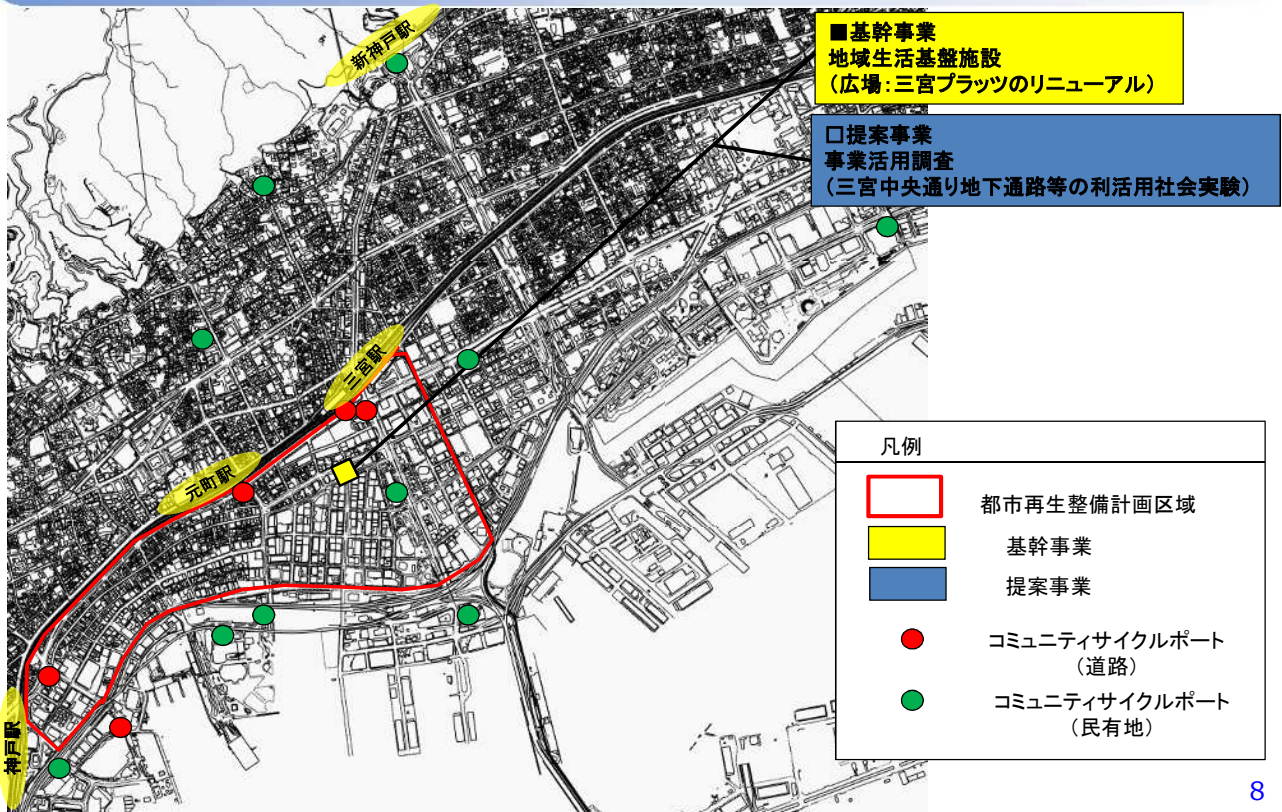
交付期間:平成28~30年度(3年間)

- 平成26年度に道路占用許可の特例制度の取組みのみの計画としてスタート
- 平成28年1月の第1回変更で、交付対象事業を計画に追加し、平成28年度より事業実施

7

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

計画区域・事業



8

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

交付対象事業費

171.5百万円 (交付限度額 : 68.6百万円 国費率 : 0.4)

基幹事業 (地域生活基盤施設 (広場))

事業名 : 三宮プラッツのリニューアル

交付期間 : 平成28~30年度

交付対象事業費 : 159.5百万円

提案事業 (事業活用調査)

事業名 : 三宮中央通り地下通路等の利活用社会実験

交付期間 : 平成28~29年度

交付対象事業費 : 12百万円

道路占用許可の特例制度

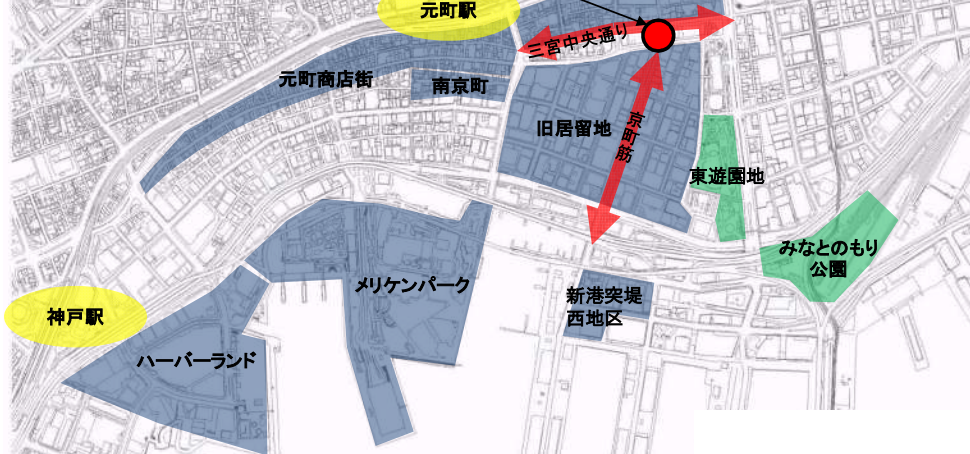
事業名 : コミュニティサイクル「コベリン」

特例占用期間 : 平成26~30年度

9

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

三宮プラッツの事業概要



三宮プラッツは、都心の要所(旧居留地を横断し、都心とウォーターフロントを結ぶ南北の都市軸である京町筋と三宮と元町を繋ぐ三宮中央通りの結節点)に位置しながら、人通りが少なく、あまり知られていないという課題がありました。

そこで三宮プラッツを都心の新たな魅力スポットとすることを目指し、これまでもイベントを実験的に行って、現在はリニューアル工事及び工事完了に合わせた官民連携による日常的な音楽イベント・カフェなどのにぎわい創出に繋がる活用に向けた取組を行っています。

10

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

三宮プラッツの経緯

※赤色の矢印は交付金事業

	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
リニューアル		調査設計	シロモノ	設計	H30.10 第1回入札不調	H31.3 第2回入札不調	工事	
利活用	音楽イベント等 社会実験等		音楽イベント等 社会実験等		音楽イベント 社会実験	活用 アイデア 募集	活用事業者 公募	



11

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

平成28年度 利活用社会実験イベント一覧

イベント名	事業者	日付	時間	概要	来場者数 (人)
太陽と虎スペシャルFREE LIVE	㈱パインフィールズ*	2016.10.23(日)	13:00~17:00	音楽ライブ BAR	600
まちのアートステージ	パニラシティ(株)	2016.10.29(土)	14:00~15:00	フルートライブ*	200
KOBE裕次郎バー			14:00~19:00	日本酒BAR Cafe	
The Garden Yoga			8:30~9:30	朝ヨガ	250
太陽と虎のすべらない話	㈱パインフィールズ*	2016.10.30(日)	14:00~16:30	トークイベント	
The Garden Yoga	パニラシティ(株)	2016.11.3(木)祝	8:30~9:30	朝ヨガ	600
Motomachi East Jazz Picnic			13:00~17:00	Jazz ライブ*	
The Garden			17:00~20:00	D J ライブ*	
神戸マラソン・シリーズイベント	パニラシティ(株)	2016.11.5(土)	11:00~15:00	足型計測 ランニング講座	40
special 1day market	パニラシティ(株)	2016.11.13(日)	10:00~18:00	ハンドメイド雑貨 アクセサリー 美容ブース 朝ヨガ Cafe&BAR	950
まちのアートステージ		2016.11.19(土)	14:00~15:00	フルートライブ*	100
The Garden			17:00~20:00	D J ライブ* Cafe	
三宮ブラッツクリスマスイルミネーション	TEAM クラフトン	12/17,18,21,23,24		クリスマスイルミネーション設置・撤去	

12

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

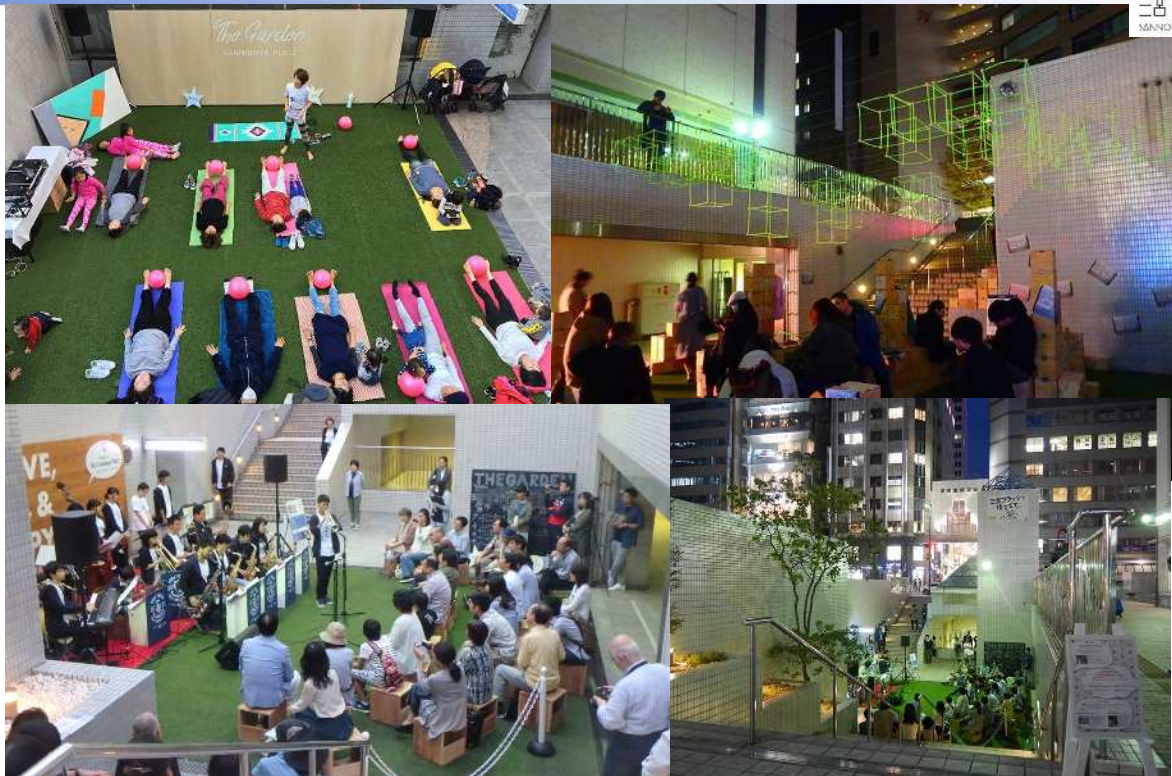
平成29年度 利活用社会実験イベント一覧

イベント名	事業者	日付	時間	概要	来場者数 (人)	
THE GARDEN OPENING PARTY	パニラシティ(株)	2017.9.1(金)	17:00~20:00	音楽ライブ* Cafe&BAR	250	
港都KOBE芸術際 クリエイト&スウィング!		2017.9.9(土)	12:00~15:00	Jazz ライブ* ワークショップ(折り紙)	150	
ぷらっとプラッツ路上ライブ		15:30~18:30	音楽ライブ*	150		
太陽と虎スペシャルFREE LIVE	㈱パインフィールズ*	2017.9.24(日)	13:00~16:00	音楽ライブ* BAR	1000	
THE GARDEN YOGA	パニラシティ(株)	2017.10.1(日)	8:00~9:00	朝ヨガ	20	
WE LOVE KOBE ENTERTAINMENT STAGE			12:45~15:45	音楽ライブ* ダンスショー マジックショー	650	
神戸ユースジャズオーケストラコンサート			17:00~18:30	Jazz ライブ*	400	
THE BAKERY GARDEN			2017.10.7(土)	13:00~17:00	ベーカリーショップ	350
THE GARDEN YOGA				18:30~19:30	ナイトヨガ	70
KOBE ALL THAT'S JAZZ			2017.10.21(土)	10:00~14:30	ワークショップ(カホン:楽器)	200

13

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

利活用社会実験



14

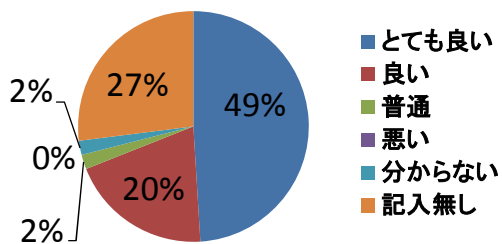
2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

来場者アンケート調査結果（抜粋）

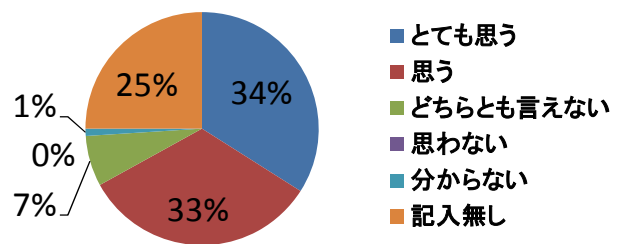


実施日：H29利活用社会実験時（9/1・9・24、10/1・7・21）
 回答者：114人（市内：約60% 市外：約40%）

【イベントの感想】



【またイベントがあればきたいと思うか？】



継続的な利活用に向けた課題等

- ・広場が70㎡程度と狭く、集客に対して十分な座席を確保できない。
- ・地上から広場へ降りてきたくなる仕掛けが必要。
- ・雨で中止になってしまったイベントが多数あった。
⇒施設のリニューアルを実施中

15

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

三宮プラッツのリニューアルイメージ



【屋根の設置】屋根の下面を鏡面仕上げすることで、地下に埋没した広場での活動を映し出し、にぎわいを地上に拡散すると共に、そのシンボリックな外形は、南北の都市軸である京町筋の玄関口として、ゲート性を担います。

【階段のベンチ化】都心を楽しみながら、ほっと一息つけるような憩い空間としての機能を高めます。

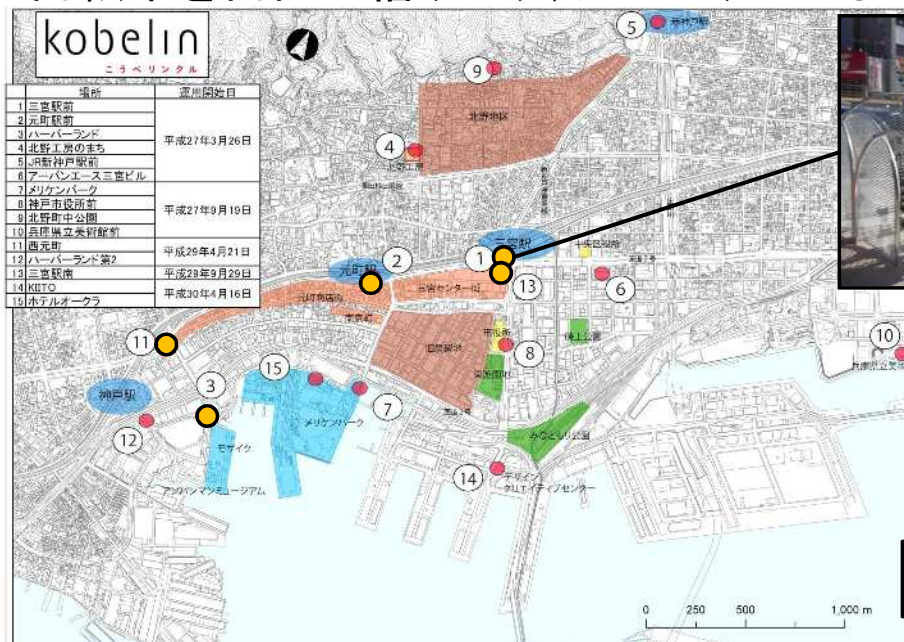
【照明改修】夜間景観にも配慮し、屋根に光を反射させ、万華鏡のような効果を生み出します。

16

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

コミュニティサイクル「コベリン」

神戸市中心部の複数のサイクルポート(貸出、返却拠点)で自転車を自由に借りたり、返したりできるシステム



サイカパーキング(株)管理運営

R1.6現在

● 道路占用許可の特例制度活用箇所

17

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

道路占用許可の特例制度とは

・道路の占用許可(道路法第33条)

道路の敷地外に余地が無く、やむを得ない場合(無余地性)で一定の基準に適合する場合に許可できる

“まちのにぎわい創出”や“道路利用者等の利便の増進に資する施設”については、都市再生特別措置法(第46条10項)に規定する**都市再生整備計画に位置付ける**等の一定の条件の下



無余地性の基準を緩和できる

18

2. 神戸都心・ウォーターフロント地区計画の内容

計画の目標

大目標:「港都神戸」の創生をめざし、

都心・ウォーターフロントの都市機能の形成を図る。

目標1:快適な自転車の回遊ネットワークの形成

目標2:まちのにぎわいづくり

目標を定量化する指標

- ①コミュニティサイクル利用回数[回転率](回/台・日)
- ②コミュニティサイクルポート数 (箇所)
- ③三宮プラッツの認知度 (%)
- ④三宮中央通りの歩行者通行量 (人/12h)

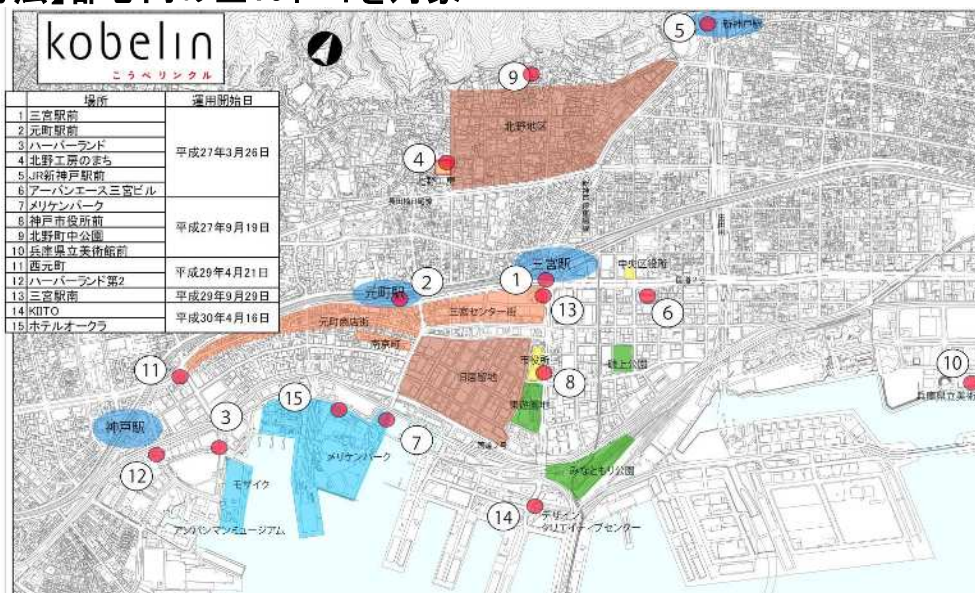
19

3. 事後評価にかかる審議

3-1. 数値目標の達成状況

指標 1 : コミュニティサイクル利用回数(回転率)(回/台・日)

【算定方法】都心内の全15ホートを対象

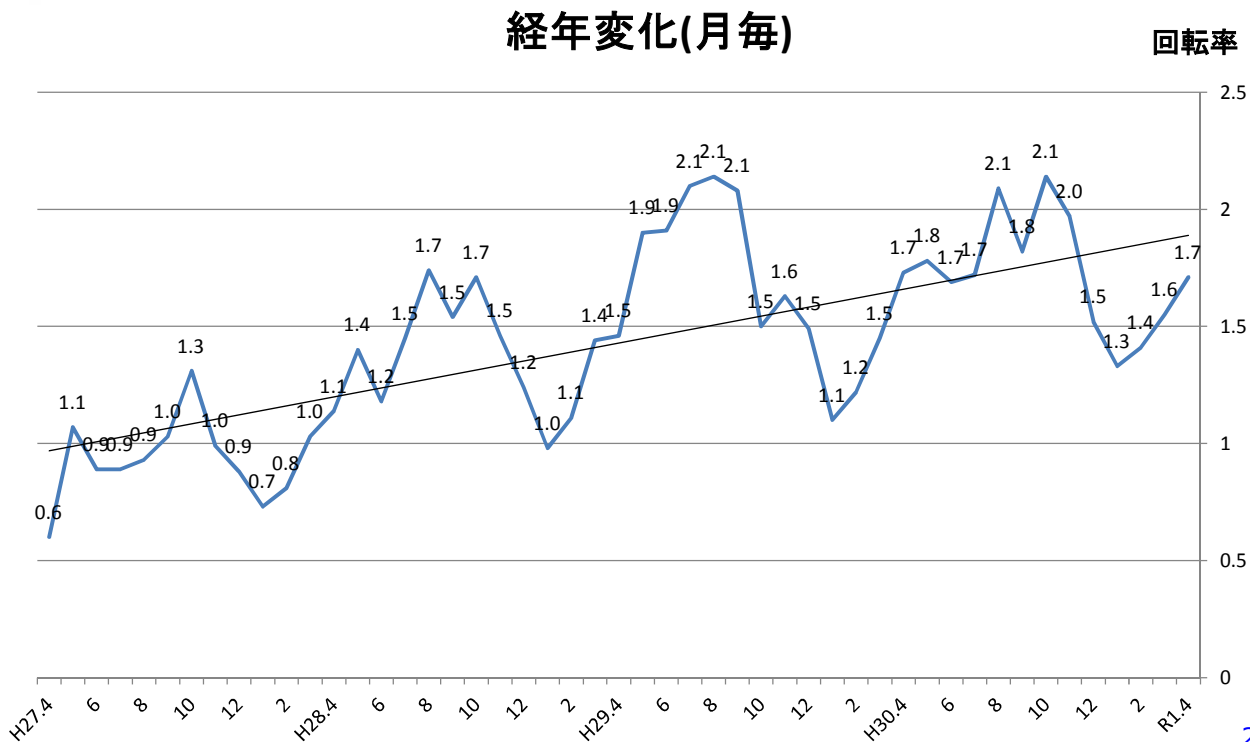


$$\text{コミュニティサイクル回転率(1年間の日平均値)} = \frac{\text{利用回数}}{\text{総自転車台数} \times \text{運営日数}}$$

※利用回数 = 貸出・返却台数 / 2

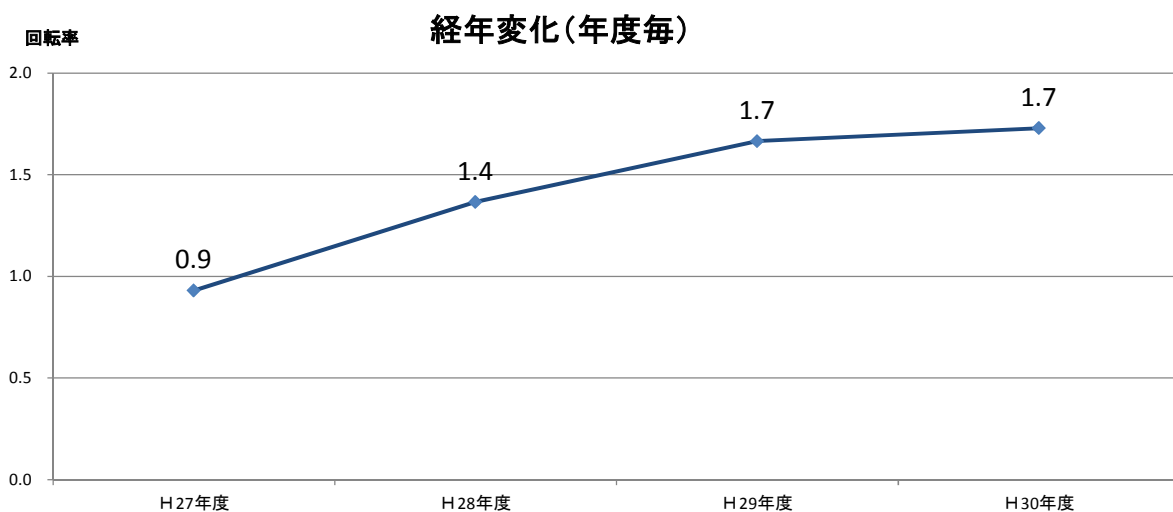
3-1. 数値目標の達成状況

指標 1 : コミュニティ利用回数(回転率)(回/台・日)



3-1. 数値目標の達成状況

指標 1 : コミュニティ利用回数(回転率)(回/台・日)



【達成状況】

0回/台・日(H25年度) → 1.7回/台・日(中間値 H30年度)
 ⇒ 1回/台・日(目標値)

3-1. 数値目標の達成状況

指標1：コミュニティサイクル利用回数(回転率)(回/台・日)

【効果発現要因】

平成27年3月より運営してきたコミュニティサイクル事業の開始から4年が経ち、徐々にコミュニティサイクルの認知度が上がったことや、三宮プラットフォーム(音楽イベント等実施)、葺合南54号線(歩道拡幅・ベンチ設置)、KOBEパークレット、JR元町駅東口のまちなか拠点(ベンチ設置)等により都心に新たなにぎわい拠点が創出された結果、便利な移動手段として市民に受け入れられたため。

【フォローアップ】

予定時期：令和2年4月頃

確定値：令和元年度の平均値

24

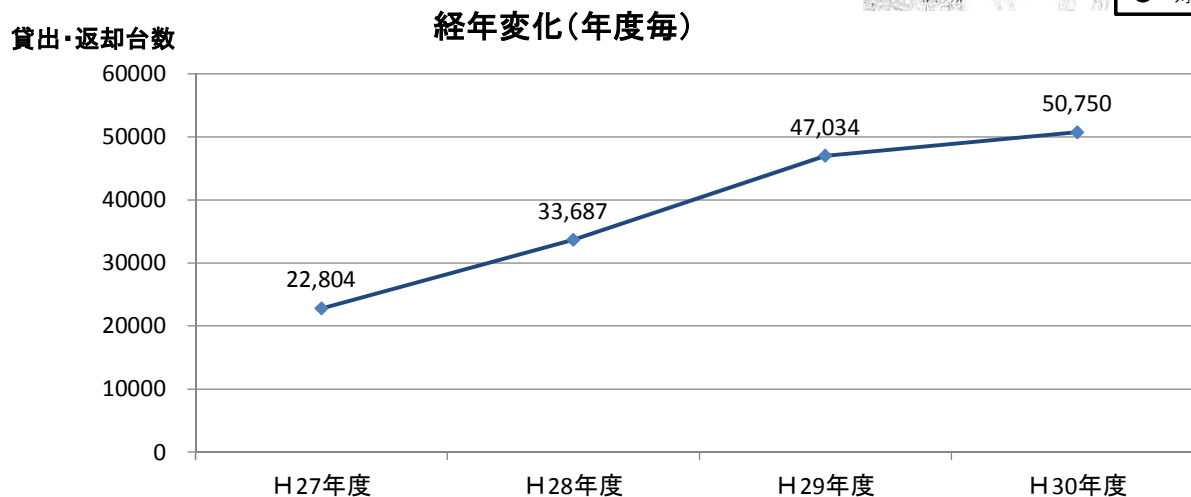
3-1. 数値目標の達成状況

その他の指標：コミュニティサイクルポート貸出・返却台数(台/年)

【対象ポート】

計画区域内の道路占用許可特例制度を活用した4ポート
(三宮駅前・三宮駅南・元町駅前・西元町)

【効果発現状況】



25

3-1. 数値目標の達成状況

指標2：コミュニティサイクルポート数(箇所)

【達成状況】

0箇所(H25年度) → **15箇所(中間値 H30年度)**
(うち計画区域内5箇所(道路4、民地1))
⇒ 15箇所(目標値)

【効果発現要因】

快適な自転車の回遊ネットワークの形成に寄与すべく、認知度の高まりに応じて人が集まりやすい箇所への自転車のアクセスを考慮しポートを整備していった結果、目標数に達した。

【フォローアップ】

予定時期: 令和2年4月頃

確定値: 令和元年度の最終日における値

26

3-1. 数値目標の達成状況

指標3：三宮プラッツの認知度 (%)

【アンケート調査方法】

1. 調査日時

休日の13:00~19:00

2. 調査箇所

地下通路: 三宮中央通り地下通路 周辺

地上部: 三宮中央通り 周辺

3. 対象者

地下通路・地上部: 来訪者(ベンチに座っている人や通行人)

4. サンプル数

地下通路・地上部の合計で100以上

【H25アンケート調査結果・目標設定】

・地下通行人の認知度25.2%に比べて、地上通行人の認知度が7.6%と低い。

・地上通行人の認知度を7.6%から地下同等の25.2%とする。

		三宮中央通り		三宮プラッツイベント 増加目標値	計
		地下通路	地上		
H25従前値	三宮プラッツを知っている割合(%)	25.2	7.6	-	16
目標値	通行量(人/12h)	2000	12000	500	①14500
	三宮プラッツを知っている通行量(人/12h)	504	3024	500	②4028
	三宮プラッツを知っている割合(%)	25.2	25.2	-	27 (②/①×100)

27

3-1. 数値目標の達成状況

指標3：三宮プラッツの認知度（%）

【達成状況】

16%（H25年度） → **25%（中間値 R1.7.13（土））**
⇒ 27%（目標値）

【効果発現要因】

平成28～29年度に実施した三宮プラッツの利活用社会実験（音楽イベント等）により新たなにぎわいが創出された事により、三宮プラッツの認知度が向上したと考える。

また、三宮プラッツのリニューアル工事などにより、今後更なる認知度の向上が見込まれる。

【フォローアップ】

予定時期：令和2年8月頃

確定値：三宮プラッツリニューアル工事完了後の値

28

3-1. 数値目標の達成状況

指標4：三宮中央通りの歩行者通行量（人/12h）

【歩行者交通量 調査方法】

1. 調査日時

休日の7:00～19:00

2. 対象者

三宮中央通りの三宮プラッツ付近（地上・地下）を通行する歩行者

3. 調査箇所

（地上）三宮中央通り、（地下）三宮中央通り地下通路

4. 観測方法

（地上）4方向（北側・南側歩道の東西）、（地下）2方向（東西）

調査票への記入は1時間毎

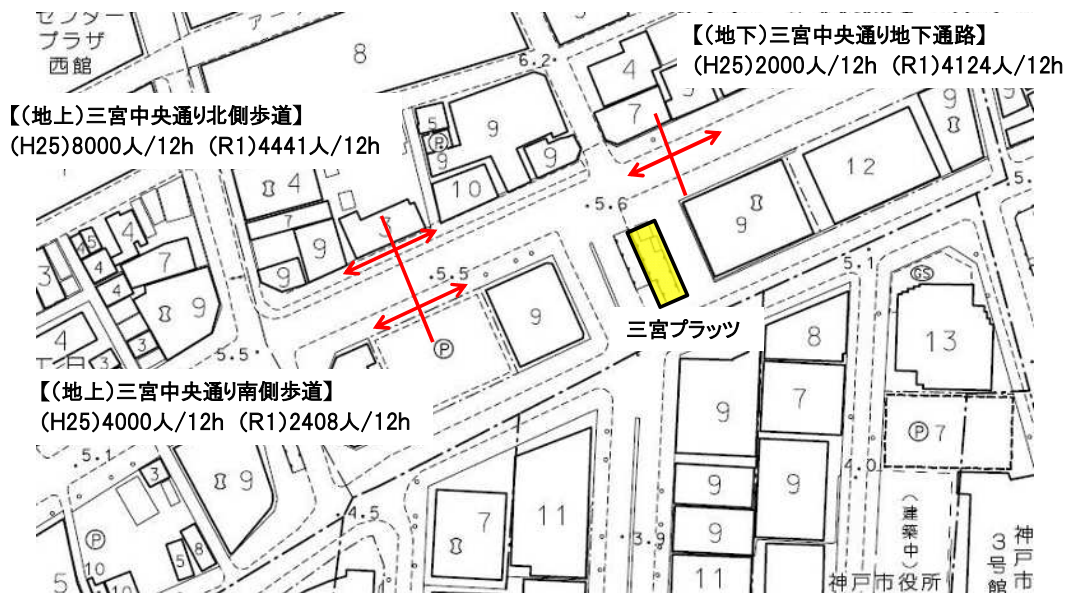
29

3-1. 数値目標の達成状況

指標4：三宮中央通りの歩行者通行量（人/12h）

【達成状況】

14,000人/12h(H25年度) → 10973人/12h(中間値R1.7.13(土))
⇒ 14,500人/12h(目標値)



30

3-1. 数値目標の達成状況

指標4：三宮中央通りの歩行者通行量（人/12h）

【効果発現要因】

平成28～29年度に実施した三宮プラッツの利活用社会実験等（音楽イベント等）により新たなにぎわいが創出され、一時的には三宮中央通りの歩行者通行量増に寄与したが、日常的な通行量増には至らなかった。

評価値(R1.7)が従前値よりも減少しているが、地区内商業施設の動向や路線価の上昇を考慮すると、計測時の天候による影響によるものと推測される。

現在(R1.7)、三宮プラッツでは、リニューアル工事及び工事完了に合わせた民間事業者による日常的な音楽イベント・カフェなどのまちのにぎわい創出に繋がる活用に向けた取組みを行っており、今後、歩行者通行量の増加が見込まれる。

【フォローアップ】

予定時期：令和2年8月頃

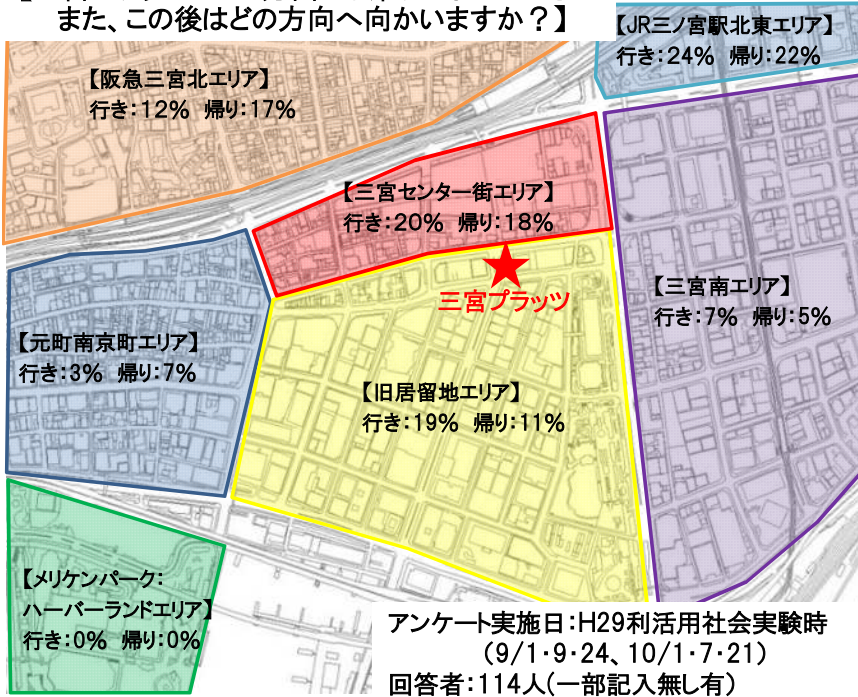
確定値：三宮プラッツリニューアル工事完了後の値

31

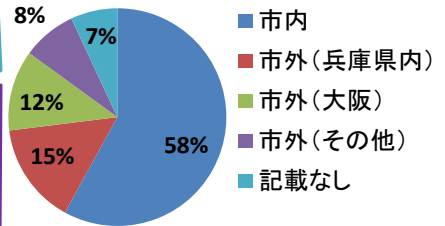
3-1. 数値目標の達成状況

その他の期待される効果

OH29社会実験時アンケート調査
 【三宮プラッツへの方面から来られましたか？
 また、この後はどの方向へ向かいますか？】



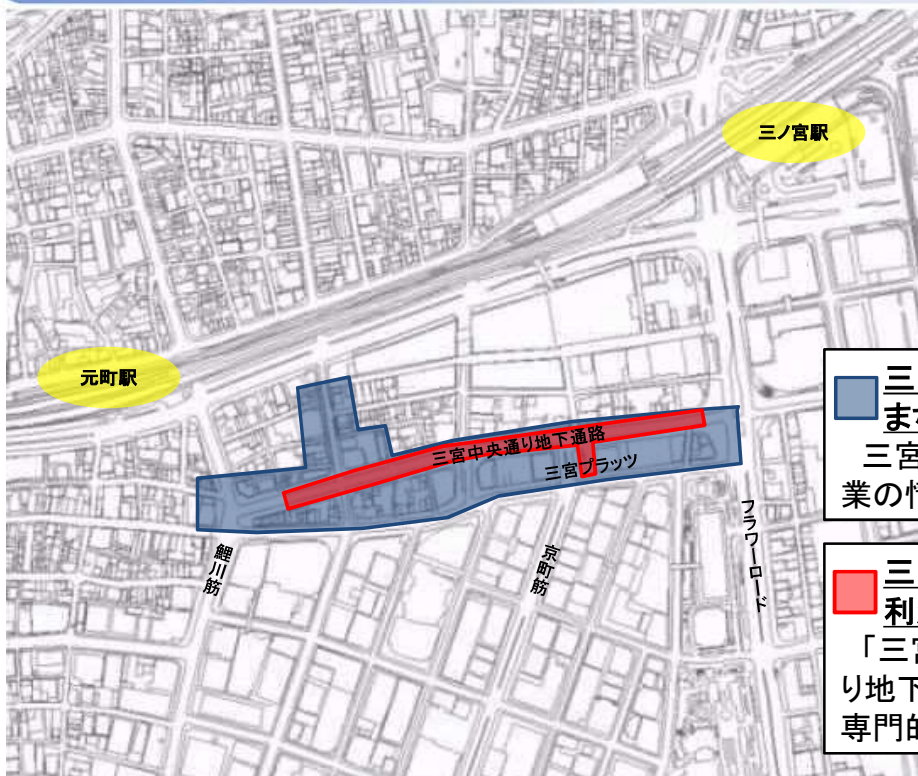
【来場者の居住地】



三宮プラッツが都心のにぎわい拠点となることにより、市外からの集客も見込まれるため、三宮プラッツのイベント前や、終了後に三宮センター街等の周辺商業エリアへ新たな人の流れが発生し、一定の経済効果が見込まれる。

3-2. 実施過程の評価

住民参加プロセスの実施状況



三宮中央通り
 まちづくり協議会定例会
 三宮中央通り地区の施策・事業の情報共有・連携・協力

三宮地下公共空間
 利活用実行委員会準備会
 「三宮プラッツ」「三宮中央通り地下通路」の利活用について専門的な意見を聴取

3-2. 実施過程の評価

三宮中央通りまちづくり協議会定例会

阪神淡路大震災により甚大な被害を受けた三宮中央通りの再整備計画の検討に沿道の商店会が主体的に取り組み、地下鉄海岸線の建設と合わせた三宮中央通りの再整備完了後、協議会が発足した。これまでに神戸市と道路管理・活用協定を締結し、オープンカフェの継続実施やパークレットの日常管理など、官民連携による公共空間の利活用に取り組んでいる。

月に1度開催される定例会には神戸市・専門家も出席し、まちづくりの動きを共有し、議論する場となっている。

協議会の活動の変遷

平成13年：協議会発足（この年、三宮中央通り完成）

平成16年：オープンカフェの社会実験実施（約1ヶ月）

平成17年：道路管理活用協定の締結

第2回オープンカフェの社会実験実施（約1ヶ月）

平成18年：オープンカフェ本格実施（以後毎年春・秋2回）

平成28年：KOBEパークレットの社会実験

平成29年～：KOBEパークレットの常設化

34

3-2. 実施過程の評価

三宮地下公共空間利活用実行委員会準備会の設立・開催

【組織概要】

委員	所属
槻橋 修	神戸大学大学院工学研究科准教授
西村 順二	甲南大学経営学部教授
永田 耕一	三宮中央通りまちづくり協議会会長
大濱 佑介	株式会社 大丸松坂屋百貨店大丸神戸店営業推進部
中野 純子	アシックスジャパン株式会社アスレチック事業部 関西第2販売部
松原 裕	株式会社 パインフィールズ代表
アドバイザー	所属
嘉名 光市	大阪市立大学大学院工学研究科
山下 裕子	全国まちなか広場研究会 理事

【開催状況】

平成28年設立～令和元年7月時点で、計5回開催

【今後の課題】

- ・短期集中的にイベントをするのも良いが、認知度を上げるには、継続的に少しずつでも何かする方が良い
- ・リニューアル後、使われないと意味がないので、活用希望事業者が使いやすいように、人件費の課題への対策として、占用料、利用料金、広告収入等の仕組みを考えておくべき。

35

3-3. 事後評価原案の公表

公表について

- ・事後評価の実施にあたり、事後評価原案を公表
- ・原案の内容は、神戸市HP又は都市局計画部指導課窓口で閲覧可能
- ・市民の皆様は原案に対して意見を述べることができる
- ・頂いた意見は、外部評価委員会の審議を経て、適宜評価に反映

意見の受付期間

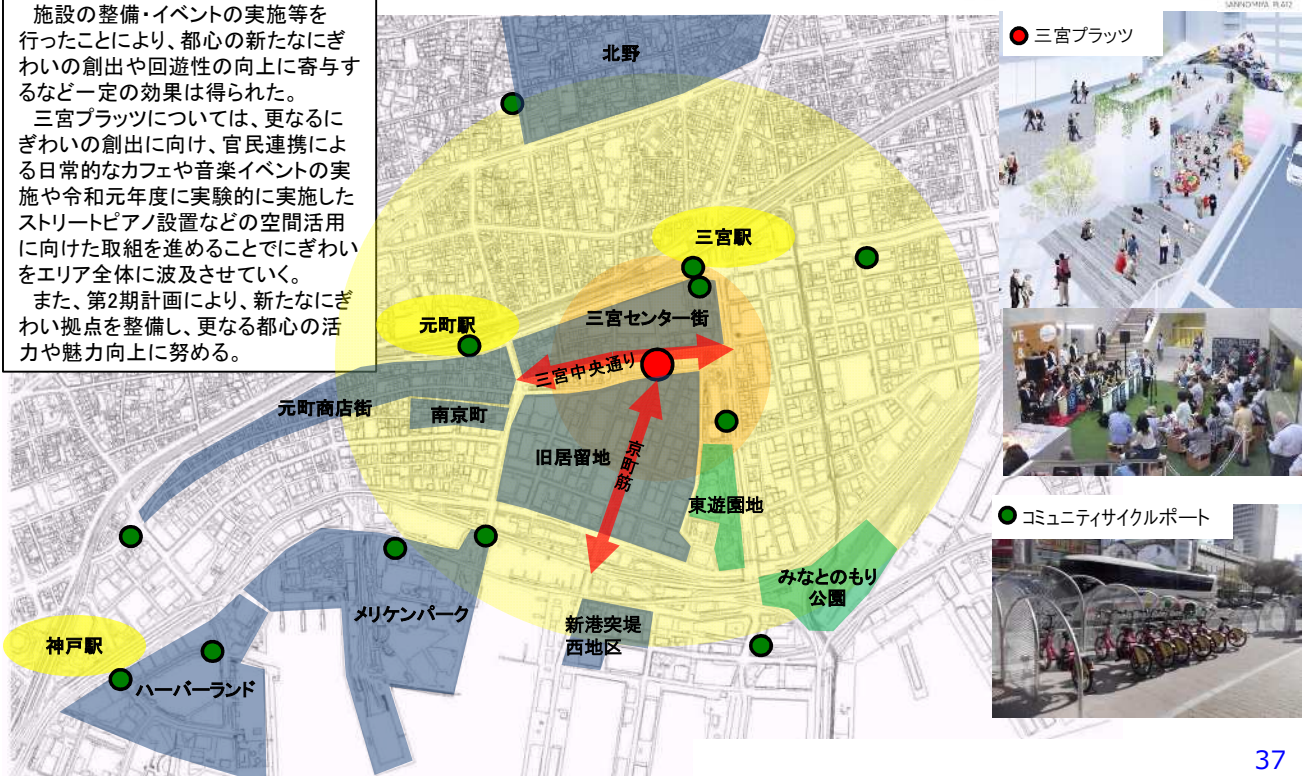
第2回委員会(令和元年11月12日)までに公表及び意見募集(2週間)

36

3-4. 今後の方針

第2期計画へ

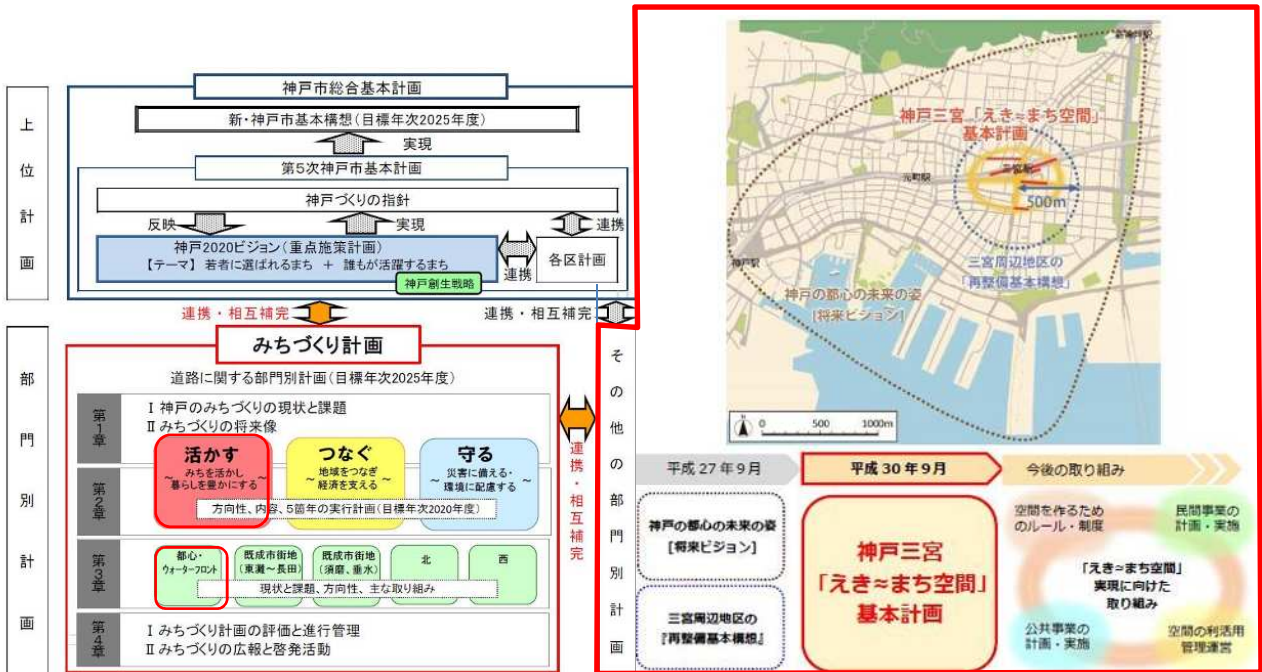
施設の整備・イベントの実施等を行ったことにより、都心の新たなにぎわいの創出や回遊性の向上に寄与するなど一定の効果は得られた。
三宮プラッツについては、更なるにぎわいの創出に向け、官民連携による日常的なカフェや音楽イベントの実施や令和元年度に実験的に実施したストリートピアノ設置などの空間活用に向けた取組を進めることでにぎわいをエリア全体に波及させていく。
また、第2期計画により、新たなにぎわいの拠点を整備し、更なる都心の活力や魅力向上に努める。



37

3-4. 今後の方針

第2期計画の位置づけ



3-4. 今後の方針

第2期計画（令和1～5年度）のエリア・事業

◆神戸都心・ウォーターフロント地区 都市再生整備計画（第2期）

神戸の佇まいとデザインが感じられ、誰もが使いやすい交通手段が整った、歩く人中心のまちの実現

